

前回部会(令和5年11月21日)等における指摘事項及び事業者の見解

番号	指 摘 事 項	事業者の見解
動物		
1	累積的な影響の予測結果から、ハイタカ、ノスリ、ハヤブサの3種についても、事後調査の対象とする必要があると考えるので、その旨を評価書に明記いただきたい。【北村委員】	評価書において、「10.1.4 動物」の「オ. 累積的な予測結果」(準備書 p716)に、ハイタカ、ノスリ、ハヤブサについても事後調査の対象とする旨を明記します。
2	ハヤブサが現状で営巣をしていない状況については理解したので、そのことを評価書に明記していただきたい。また、万が一、営巣を始めるなど状況に変化があれば適切に対応いただきたい。【北村委員】	ハヤブサが現状で営巣をしていない状況について評価書に明記します。また、今後、ハヤブサの営巣の兆候が見られた場合、専門家等の指導・助言を得て、適切な対応を検討します。
3	ノスリやミサゴの営巣の可能性について、どのように考えられているのか伺いたい。【北村委員】	希少猛禽類の確認概要は、第 10.1.4-17 表(準備書 p629)のとおりであり、ノスリについては4月～8月、ミサゴについては5月～7月に1例も確認されておらず、両種とも抱卵～巣立ちの時期に確認されていないことから、営巣の可能性はないものと考えております。
植物		
4	風車が一定の間隔で配置される計画であり、風車が設置されることで、現在は連続的に生育している植物群落が分断されることとなる。そのことによる影響を予測評価したり、今後、事後調査を行うことを考えられているのか伺いたい。【渡邊委員】	<p>風車の建設により植物群落が分断されることによる影響予測については、現在までに確立された手法はなく、予測は困難です。分断されることによる植物群落への影響としては、改変場所へ分布を拡大できないこと、及び遺伝子交流の妨げが考えられます。工事期間中は工事用道路等による分断が生じますが、風や虫による花粉媒介への影響はほとんどないと推定されること、工事後は一時的に消失した植生の速やかな回復が期待されること、風車による植物群落の分断の程度も小さいことから、分断による植物群落への影響は小さいと考えられます。</p> <p>また、事後調査については、専門家等への助言・指導を得て、実施の要否について判断します。</p>

番号	指 摘 事 項	事業者の見解
生態系		
5	<p>シロチドリについて、営巣密度に関する事例がない場合、採餌範囲なども併せると、予測として良いかもしれない。</p> <p>一方、現地視察から、事業区域内にもシロチドリは、十分に営巣する可能性があると感じた。事業実施前には営巣がないか確認するなどの対策をとることが好ましい。【北村委員】</p>	<p>採餌範囲を特定するための調査を実施していないため、採餌範囲を利用した影響予測は難しいものと考えます。</p> <p>工事開始時期がシロチドリの営巣時期と重なる場合は、工事着手前に対象事業実施区域内においてシロチドリの営巣の有無を確認します。</p>